

本グランドデザインは、区全域の都市計画の基本的な方針を示す「大田区都市計画マスタープラン」における地域別方針を具体化する計画として、まちの将来像を描くと共に、地域住民・事業者・行政が一体となってまちづくりを進めていくための目標や方策を示したものです。平成22(2010)年策定から10年が経過するなか、社会やまちの状況の変化に対応し、蒲田が将来に渡って持続的に発展していくため、改定素案を作成しました。

1章 地区の位置づけ・役割・まちの変化

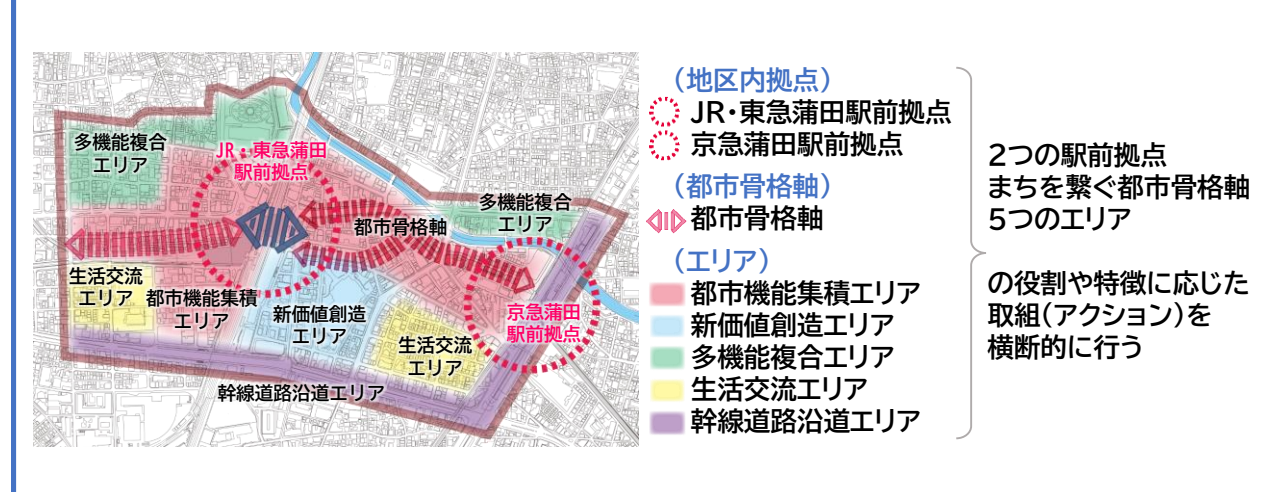
- (上位・関連計画における位置付け)
 - ・新都市生活創造域、枢要な地域の拠点
(東京都市計画 都市計画区域の整備、開発及び保全の方針)
 - ・広域拠点域、中心拠点
(大田区都市計画マスタープラン)
- (広域的な視点からみた地区の役割)
 - ・広域的な拠点性を高める機能
 - ・鉄道沿線の日常的な生活を支える機能
 の強化・充実が求められている
- (蒲田を取り巻く状況の変化)
 - ・小売店舗や事業所、工場の減少・夜間人口、集合住宅の増加
 - ・駅乗降客数や羽田空港の旅客数、外国人の増加 など

2章 まちの特徴と課題

3章 まちの将来像



4章 拠点・軸・エリアのまちづくり (※詳細は裏面)



5章 まちづくりの目標と分野別方針

目標1.
文化・交流・にぎわいを生み出す
「活動」の創出

目標2.
地域の価値を高める
「空間」の充実

目標3.
安心して快適に過ごせる
「環境」の向上

- 1.【商業】
いきいき元気の商業のまち
- 2.【産業・ビジネス】
産業やビジネスが育つまち
- 3.【暮らし】
多様な人々が快適に暮らせるまち
- 4.【観光】
国内外と繋がり、何度も訪れたいまち
- 5.【駅・駅前広場】
ゆとりを感じる利便性の高い駅と駅前広場
- 6.【歩行者空間】
歩いてめぐり楽しめるまち
- 7.【交通】
様々な手段で快適に移動できるまち
- 8.【建物】
建物の更新や活用が進むまち
- 9.【防災】
災害に強いまち
- 10.【ユニバーサルデザイン】
誰もが使いやすい人にやさしいまち
- 11.【美化・景観】
個性と魅力のあるまち
- 12.【自然・環境】
自然を感じ、環境にやさしいまち
- 13.【防犯】
安全・安心なまち

6章 まちづくりの取組(アクション)

- 1- ① 多様なニーズに応える商業の集積と担い手支援
② 商業やまちの魅力を広げるイベント等の拡充
- 2- ① 立地特性を活かした業務機能の誘導
② 経済活動の活性化を図る産業支援の促進
③ ビジネスパーソンが快適に働くことができる環境の充実
- 3- ① 多様な人々の暮らしを支える施設・サービスの誘導
② 地区への愛着を育む学びと交流機能の誘導
③ 豊かな心と文化を育む文化活動の充実
④ 人々の支えあいを育む交流機会の充実と参加促進
- 4- ① 来街者を惹きつけるプロモーションの充実
② 来街者を迎え入れる体制の充実
③ 来街者の快適な滞在を支える施設の充実
- 5- ① 区内の円滑な移動と広域的な利便を生む新空港線整備の推進
② 駅東西の分断を解消し、鉄道の乗換えを円滑にするJR・東急蒲田駅東西自由通路の整備
③ まちの円滑な移動を支えるJR・東急蒲田駅北側通路の整備
④ まちの顔となる駅・駅ビルの一体的な機能更新
⑤ 駅と駅を繋ぐ快適な乗換え空間の形成
⑥ 多様な移動手段や駅とまちを繋ぐ駅前広場の機能向上
- 6- ① 歩行者の円滑な移動と多様な活動を支えるストリートの創出
② 緑と潤いのある呑川沿いの散策路整備
③ 歩行者の安全とまちのにぎわいを創出する駐車場の適正化
- 7- ① 地域住民の移動を支え利便性の高い自転車駐車場の整備
② 自転車や歩行者等が安全に移動できる自転車走行環境の整備
③ 自由な移動を支える先端技術と交通モードの活用
- 8- ① 沿道のにぎわいが連続する複合市街地の形成
② 老朽建築物の建替えと公共施設や街区の再編によるまちの更新
③ 人々が留まり、にぎわいを生むオープンスペースの整備
- 9- ① 災害時にも都市活動の継続が可能な強靱性の高い拠点の形成
② 首都直下地震等への対策の推進
③ 台風・豪雨による都市型水害対策の推進
④ 帰宅困難者等を受け入れる施設や体制の確保
⑤ 地域住民の防災意識の向上
- 10- ① 誰にとっても分かりやすいサインの整備
② 誰もがスムーズに移動できるバリアフリー化の推進
③ 人々の多様性を認め受け入れるダイバーシティの推進
④ 先端技術を駆使した環境の整備
- 11- ① みんなで綺麗なまちをつくる美化活動
② 蒲田らしい特性や魅力を活かした景観の育成
- 12- ① 地域とつくる緑あふれる都市環境の創出
② 緑とにぎわいを感じる公園等の充実
③ まち全体で取り組む環境負荷の低減
④ 暑い日もまちなかで快適に過ごせるための暑さ対策
⑤ 潤いを創出する呑川の水質改善
- 13- ① 地域の方でつくる安全な環境の確保
② 自転車マナーアップと放置自転車対策の推進

7章 JR・東急蒲田駅前拠点の施設整備

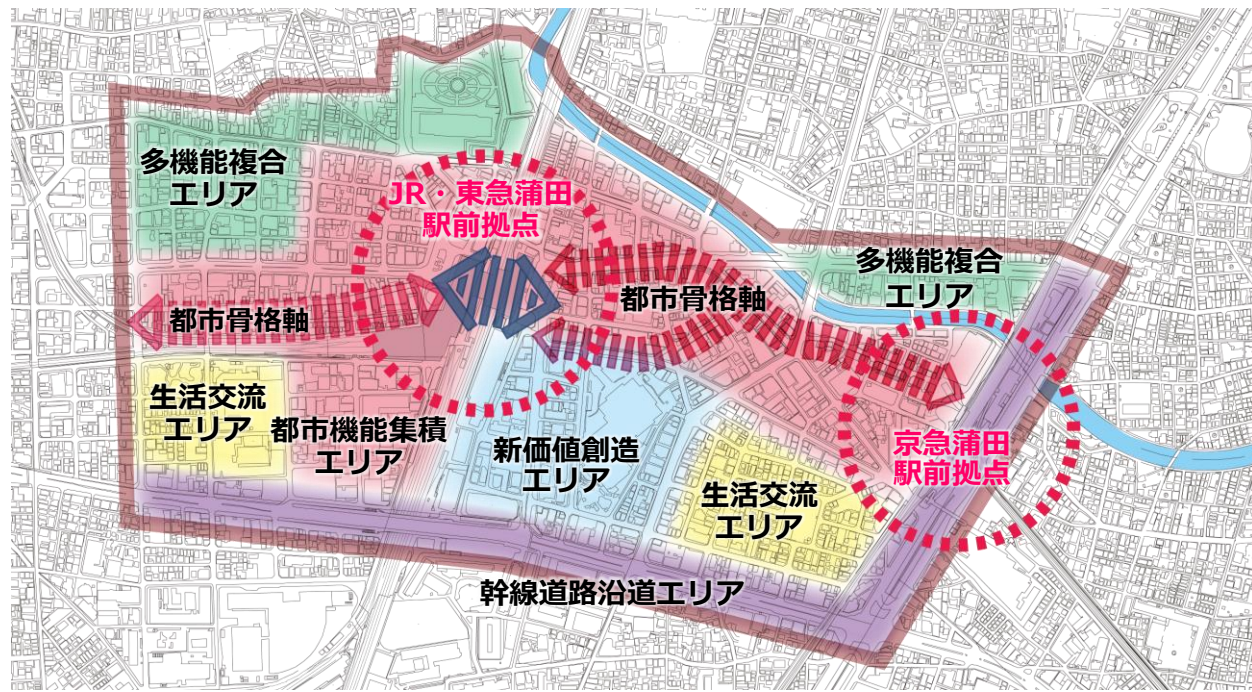
基盤施設が抱える課題 ・ 課題解決の方向性

8章 グランドデザインの実現に向けて

協働によるまちづくりの推進 ・ グランドデザインの運用の考え方

第4章 拠点・軸・エリアのまちづくり

各拠点・軸・エリアが担う役割や特徴を踏まえ、各場所で特に重点的に取り組む方策を示します。



地区内拠点

都市骨格軸



JR・東急蒲田駅前拠点

国内外やまちを繋ぎ、利便性が高くまちの顔となる
交通結節機能の強化

- (1) 駅の東西、駅とまちを円滑に繋ぐ歩行者空間の創出
- (2) 公共交通の乗換えを支え、にぎわい溢れる駅前空間の創出
- (3) 交通結節点にふさわしい都市機能の強化



京急蒲田駅前拠点

人々をまちに呼び込む、玄関口にふさわしい
来街者を魅了する駅前拠点の形成

- (1) 国内外からの来街者を迎え入れる玄関口の形成
- (2) 調和の取れたまちなみと安全で快適な歩行者空間の形成



都市骨格軸

商業などが連続し、にぎわいの広がりをつくる
歩いて楽しいストリートの形成

- (1) 沿道のにぎわいが連続するまちなみの形成
- (2) 道路と沿道が一体となったにぎわい溢れるストリートの創出
- (3) 安心して快適に拠点やまちを繋ぐ歩行者環境の形成

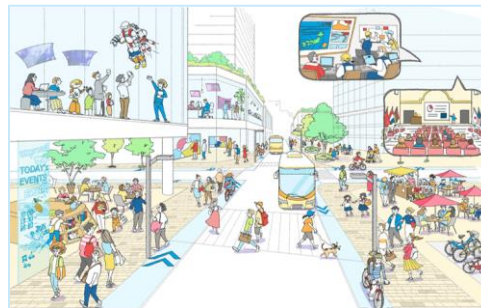
エリア



都市機能集積エリア

様々な都市機能が集積し、人々を惹きつけ・留める
にぎわいの創出

- (1) 商業・業務を中心に多様な機能が集積する複合市街地の形成
- (2) 多様な活動が展開され、にぎわい溢れる空間の創出
- (3) 安全で環境にやさしい市街地の形成



新価値創造エリア

ビジネス・文化などが集約し、人々の活発な活動・交流による
新たな価値の創造

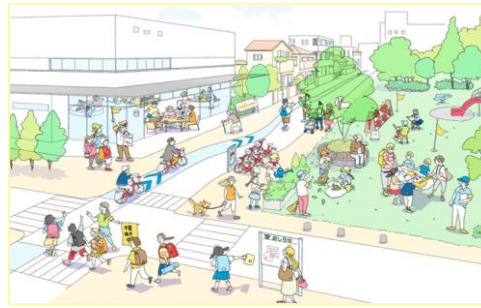
- (1) 人々や企業の交流を育み新たな価値を生み出す市街地の形成
- (2) 集い・学び・交流が生まれる空間の創出
- (3) 安全で環境にやさしい市街地の形成



多機能複合エリア

周辺住宅地と本地区を繋ぎ、水と緑を感じる
地域に根差した活力の創出

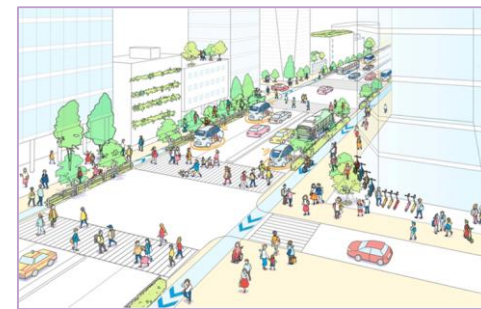
- (1) 多様なライフスタイルに対応する市街地の形成
- (2) 水と緑が感じられる生活環境の形成



生活交流エリア

学びや交流の場となる学校や公園などを中心として
地域への愛着や親しみの育成

- (1) 人々が交流し、繋がりを育む生活環境の形成
- (2) 安全で安心して暮らせるまちづくりの推進



幹線道路沿道エリア

広域的な移動を支え、街路樹や災害に強い建物が立ち並び
安全で快適な沿道環境の整備

- (1) 安全で安心な幹線道路沿道の整備促進
- (2) 快適で円滑な移動を支える沿道環境の創出